



見 る 知 る

# ミルシル

じぶんの「まち」を



「ままとまった」ことが  
一番うれしい  
防犯をとおして地域が

今回取材したのは、花岡にお住いの齋藤次央さん。高根沢町北小学校のスクールガード隊長を務めています。そんな齋藤さんに、地域づくりにかける想いをお聞きしました。

## パトロールが人の目につけばそれで良い

### ◆スクールガードではどんな活動を？

スクールガードというのは、小学生の登下校中の安全を見守る活動なんですけれども、私は青色灯防犯パトロール講習を受けていますので、いわゆる「青パト」で通学路を見回っています。子どもたちも慣れたもので、下校時間のパトロール中に青パトの窓から「さようなら」と声をかけると、それはもう元気な声で「さよなら〜！」と手を振って挨拶を返してくれるんですよ。こっちまで元気を貰える。この北小学校のスクールガードは、町内でも最多の人数が登録していて、現在は36名。朝の登校時間なんて、すごいですよ。オレンジのベストを着た隊員が、交差点ごとに立っているんですから。皆、ボランティアで、皆、自主的に活動してくれているんです。本当にありがたいです。

### ◆活動には、学校からの要望などもあるのでしょうか。

学校からは、隊員にどこに立ってほしいとか、どこを見回ってほしいとかの要望は、一切ないです。逆に言うと、私たちは子どもたちがどの家に帰って行くのか、全く知らないわけです。個人情報ですからね、そういうものです。でも、大まかな通学路は決まっていますから、その所要所に、隊員は自主的に立っています。それぞれ自分のできる時に、できる範囲でやる、これが長続きのコツです。

そんなわけで、子どもたち一人ひとりが家に帰りつくまで、全員を見守ることは、もちろんできません。でも大事なものは、見守りやパトロールをする隊員の姿が、人の目に入ることなんです。この地域では悪い事はできないぞ。と、そんなふうに見せることができれば、大成功ですね。

(裏面につづく)

### ◆プロフィール◆

齋藤次央（さいとう つぎお）さん。1940年生まれ。スクールガードのおおくりと盆菜園が趣味。鮎名。生れ地は高根沢町。家庭菜園が趣味。鮎名。

## 活動の始まりは 住民主催のイベント

### ◆防犯活動のはじまりは？

実は、今はスクールガードという全国的な取り組みの中で活動していますけれども、元々は「自主防犯高根沢北パト隊」という名前で活動が始まったんです。その北パト隊がどうやって結成されたかという話、話は平成16年まで遡ります。

当時、県道宇都宮・烏山線に、仁井田鴻野山バイパスが開通することになって、それで、北小学校区の住民で何かやろうという動きになりました。自分たちで色々考えた結果、住民主催のオープンフェスタを企画して、バイパス上のウォークラリーをやったり、模擬店を出したりしたんです。たくさんの人がきてくれて、大盛況でしたよ。

◆住民主催というのはすごいですね。もともと住民同士のつながりが深い地域なのでしょいか。

とんでもない(笑)。ここ、北小学校区というのは、飯室、伏久、文挾、花岡、平田の実に5つもの地域に分かれているんです。それぞれに自治会も違いますから、普段、この小学校区の中で、地域を超えて住民同士が関わることはといえば、小学校の運動会くらいしかなかったんですよね。それが、このバイパス開通のイベントで、初めて団結した。これは、大きな出来事だったんですよ。

そんなわけで、そのイベントの駐車

場としてお借りしたのが、北小学校のグラウンドだったのです。その縁で、当時の校長先生から、校内での子どもたちの安全は教員が守るから、校外の安全を守ってくれる人がいないかな、と話がありました。それなら、このイベントでせっかく住民同士がつながったところだし、地元住民の皆でやろうということになったのです。

### 防犯のために 地域がまとまった

### ◆北パト隊は、スクールガードよりも歴史が古いそうですね。

そうですね。北パト隊が結成されたのが、平成16年。一方で、スクールガードという活動が全国に広まったのは、平成18年。あの痛ましい今市市の児童誘拐事件がきっかけです。当時、こういうった子どもが巻き込まれてしまう事件というのが、何件か続いたんですよ。それで、

ここ高根沢町でもスクールガードが作られてからは、北パト隊の皆がこれに登録して活動を続けています。この一連の防犯活動の最も大きな功績は、それまでバラバラに存在していた5つの地域がひとつにまとまったこと、私はそう思っています。



▶児童から届いた  
お礼の手紙

## 今日からできる

### 「ながら」見守り!!

「ながら見守り」は、日常生活を普通に送り「ながら」、防犯の視点を持って子どもを見守る活動です。

例えば、子どもたちの登下校の時間に合わせて・・・

- ▼犬の散歩をしながら見守る
- ▼ウォーキングをしながら見守る
- ▼ジョギングをしながら見守る
- ▼農作業をしながら見守る
- ▼花の水やり、手入れをしながら見守る

子どもの被害は特に15時から18時に集中しています。あなたのその「目」が地域を「見守る目」になるのです。気になるものを目にしたら、迷わずご連絡を！

### 緊急性のある時・・・

子どもが怪しい人に声をかけられている  
カメラを向けられている  
あっ危ない!と思ったら

→110番へ通報

### それ以外の時・・・

これって大丈夫?ちょっと心配だな、と思ったら  
→社会福祉協議会へご連絡ください

028-612-3440

社会福祉協議会は“すべての人が住み慣れた場所で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる地域”の実現を目指しています。この情報紙では地域で輝いている人を紹介していきます。身近に“輝く人”をご存じの方は、ぜひご連絡ください。

発行者 | 高根沢町生活支援コーディネーター  
問合せ | 028-612-3440 (高根沢町社会福祉協議会)

社会福祉協議会のホームページもご覧ください  
<http://www.takashakyo.jp/>

